

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) G. Yu. Butuzova: 「サントリン火山カルデラにおける現世火山源堆積鉄鉱生成過程と沈殿物地球化学に対するその影響」 (Современный вулканогенно-осадочный железорудный процесс в кальдере вулкана Санторин (эгейское море) и его влияние на геохимию осадков); ソ連科学アカデミー地質研究所報告, 第194巻, 1969. 114 p. 図33, 表32, 文献89, B 5 版 (露文)

目 次

序文

第1章 研究史, 研究資料, 研究法

研究史概観

研究資料と研究法

第2章 サントリン火山帯の地形の特徴, 地質構造, 発達史

構造地質上の位置

地形の特徴

地質構造

サントリン火山発達史

第3章 底質の主なタイプ

底質の分類と海域での分布

底質の機械的組成

粗碎屑物と砂・シルトの組成

底質の粘土組成

底質中の炭酸塩鉱物の分布

有機物と自生 SiO_2 の分布

底質の後堆積変質

第4章 サントリン火山カルデラ中の鉄鉱の集積, その組成と成因

サントリン火山の気水活動の性質, 気体・熱水・火山昇華物の組成

鉄鉱沈殿物, その化学・鉱物組成

鉄鉱集積物の成因

第5章 サントリン火山帯とクレタ海盆中央部の底質中の $\text{Fe} \cdot \text{Mn} \cdot \text{Ti} \cdot \text{P}$ と5微量元素 ($\text{V} \cdot \text{Cr} \cdot \text{Ni} \cdot \text{Co} \cdot \text{Cu}$) の分布

第6章 サントリン鉄鉱集積体とラン・ディル型古期鉄鉱床との比較

2) N. A. Bolkhovitina: 「ウラジロ科しだ類の孢子とその層位学的意義」 (Споры глейхениевых папоротников и их стратиграфическое значение), ソ連科学アカデミー地質研究所報告, 第186号, 1968. 116 p, 図13, 表18, 写真16, 文献291, A 5 版 (露文)

目 次

序

現世ウラジロ科の体系

ウラジロ科孢子の形態

オリゴカルピヌス科 (Oligocarpiaceae) とウラジロ科化石孢子各論
地質時代別オリゴカルピヌス科・ウラジロ科葉痕の分布
地質時代別ウラジロ科孢子の分布
ウラジロ科孢子の相属性

3) M.A. Glazovskii 編: 「ソ連の地表部における微量元素」(Микроэлементы в ландшафтах Советского Союза), モスクワ大学出版所, 1969. 248 p, 図32, 表115 (露文)

目 次

序

A. V. Gedymin: ヨーロッパ・ソ連の土壤中微量元素含有量図作製に関する幾つかの原則

I. P. Gavrilova, I. A. Pavlenko: 西シベリヤタイガー・ローム層上の土壤中における微量元素分布の特徴

I. G. Pobeditseva: オレンブルク州東部土壤中の微量元素

T. M. Belyakova: 北カザフ地方ステップ帯土壤中の弗素含有基準と挙動の特徴

P. V. Yelpat'evskii: ウラル山脈東斜面ポドゾル土・灰色森林土中の銅の固定型式

I. G. Pobeditseva: 花崗岩風化殻中に発達するステップ土粒度別分離体中の微量元素含有量

M. A. Glazovskaya: 地化学探査のための地形—地化学的分帯区分

N. P. Solntseva: 有用鉱物探査用地形—地球化学図作製のための地球化学的指数選択の原則

Ye. M. Hikiforova: ザバイカル地方土壤中のトリウム・ラジウムの再配列規則性と鉱床探査に対するその重要性

G. B. Grigoryan: アルメニア地方ボフチャ川盆地山岳土壤中の微量元素

Ye. M. Nikiforova: 南ザバイカル地方天然水中のウランの若干の規則的挙動

V. D. Arutyunov, I. V. Babel', T. M. Belyakova, A. A. Djavoronkov: 天然水中の余剰弗素含有量と関連ある生物地球化学的風土病としてのフリュオロース

N. P. Solntseva: 一般地化学フィールドと、タングステン鉱体分布地域としての山岳タイガー—土壤の地化学的研究による比較解析

4) M. M. Yudin: 「カウンラード銅鉱床」(Медное месторождение Коунрад), 「Nedra」出版所, 1969. 150 p, 図14, 表32, 文献100, A 5 版 (露文)

目 次

序

第 1 章 コウンラード銅鉱床の地質概要

銅鉱床の地質構成

銅鉱床の地質構造

交代岩

第 2 章 コウンラード銅鉱床初成銅の銅物組成・共生関係・生成順序

銅石概説

銅体の形態と内部構造

銅石の銅物組成

銅石の組成・構造

銅石銅物の特徴

銅物の共生関係

銅石銅物の生成順序

第 3 章 コウンラード銅鉱床初成銅の地球化学的特徴

研究段階と研究法

新着資料の紹介(資料室)

各元素の特徴

鉍石に対する主な地球化学的結論

第4章 コウンラード鉍床の成因問題

N. I. Nakovnik と K. S. Gazizova の説

花崗斑岩と流紋斑岩の相対年代

二次珪岩と鉍石の成因的相関々係

鉍石の生成条件

5) M. G. Agabekov ら編: 「南西ユーラシアのアルプス地向斜帯の構造と新構造運動」(Новейшие тектонические движения и структуры альпийского геосинклинального пояса юго-западной Евразии), アゼルバイジャン共和国科学アカデミー・グープキン記念地質研究所, 1970. 157 p, 図21, 表4, 文献265, B 5版(露文)

目次

- N. I. Nikolaev: 黒海の新期構造地質と地殻の発達
M. G. Agabekov: 新構造運動による南東カフカース地域ドーム帯の移動
F. S. Akhmedbeili: 新期褶曲域の新構造地質区分の2・3の基準
F. S. Akhmedbeili, A. V. Mamedov, M. A. Museibov, N. Sh. Shirinov: クラ構造盆地の新構造運動
B. A. Antonov, B. A. Budagov: アゼルバイジャン山岳地域の新構造運動
A. D. Sultanov: コプィスタン地域白壺系の油層予測のためのアルプス型地質構造史
R. A. Allakhverdiev: 大カフカース山脈南東部の後中新世構造運動について
Ye. Ye. Milanovskii: 南西ユーラシア大陸アルプス地向斜帯新構造運動発達期
N. I. Nikolaev, V. I. Babak, A. A. Rydjova: クリミヤ半島の新構造運動
A. V. Mamedov, B. G. Vekilov, N. V. Pashaly: 新構造運動の問題に関連ある中部クラ盆地
- 第四系
- N. I. Nikolaev: 構造運動構造とクリミヤ半島の地震の関係について
D. M. Danilevskaya: カラ川下流油田地区の新構造運動の問題について
L. I. Maruashvili: ザカフカース地方および地球全体の中部第四紀造山運動相について
M. N. Smirnova: 継承断層に沿う新構造運動と関係ある中部・東部プレドカフカース地方の地震
- I. N. Safronov: 北カフカース・プレドカフカース両地方の新構造運動の諸問題
N. Ye. Astakhov: グルジャの新構造運動期における構造形態の発達
P. N. Tsys': ソ連領カルパート山脈における新構造運動の地形に対する現われの特徴
K. M. Mirzaev, V. V. Kozlov: 近東の新構造運動
L. M. Rastsvetaev: コペト・ダーク地方新期構造形成に対する水平縮力の役割
B. K. Luzgin: 中部コペト・ダーク地方の新構造運動構造と地形の地形学的解析
A. F. Yakushova, N. A. Syagaev, A. A. Chistyakov, L. P. Kondakova: 油田構造探査における新構造運動データの活用

6) V. N. Shvanov: 「砂岩とその研究法」(Песчаные породы и методы их изучения), 「Nedra」出版所, 1969. 247 p. 図99, 表26, 文献424, A 5版(露文)

目次

- 第1章 砂岩の分類原則, その境界と量
第2章 砂岩層堆積区と成因的分類
第3章 組織・構造による分類

- 第4章 粒度組成
- 第5章 砂粒の形態
- 第6章 砂粒の定位
- 第7章 成層構造と層間構造
- 第8章 漣痕
- 第9章 層理

7) E. E. Fotiadi 編:「シベリヤ・極東の地球物理学的研究による地質学的成果」(Геологические результаты геофизических исследований в Сибири и на Дальнем Востоке), 「ナウカ」出版所シベリヤ支部, ノーボシビルスク, 1967. A 4 版, 342 p, 図 181, 表47, 文献 761

目次

序文

- シベリヤ・極東地方地球物理的研究概説
- シベリヤ・極東地方の磁気異常と重力異常
- 地球物理的・地質学的データによる地質構造の主な特徴

第1編 西シベリヤ

序

第1部 西シベリヤ楕状地

- 第1章 地球物理学的・地質学的前提
- 第2章 地球物理学的データによる西シベリヤ楕状地の地質構造
- 第3章 西シベリヤ楕状地西部
- 第4章 オビ河・イルトゥィシュ河河間地域
- 第5章 西シベリヤ楕状地北東部
- 第6章 西シベリヤ楕状地南東部
- 第7章 北プリイルトゥィシュ地方二次構造階の構造

第2部 西シベリヤ楕状地周縁地域の地球物理学的研究

- 第8章 ウラル山脈東斜面
- 第9章 中央カザフ地方と南西アルタイ地方
- 第10章 アルタイ・サヤン地区
- 第11章 アルタイ・サヤン地区の金属・非金属鉱床に対する地球物理探査
 - (a) 鉄
 - (b) 有色金属・ボーキサイト・多金属・金
 - (c) クズネック・アラタウ山脈東斜面の黒色・有色稀少金属
 - (d) クズネツ炭田の石炭

第2編 東シベリヤ

序

東シベリヤの地質構造の主な特徴

第1部 シベリヤ卓状地

- 概説
- 第12章 地球物理学的・地質学的前提
- 第13章 西ヤクート地方の岩石の物理的性質
- 第14章 シベリヤ卓状地北部と北極圏地方の地質構造
- 第15章 シベリヤ卓状地西部の地質構造
- 第16章 シベリヤ卓状地東部の地質構造

新 着 資 料 の 紹 介 (資 料 室)

- 第17章 シベリヤ卓状地南部の地質構造
- 第18章 シベリヤ卓状地北部と北極圏地方の石油・天然ガス
- 第19章 シベリヤ卓状地東部の石油・天然ガス
- 第20章 シベリヤ卓状地南部の石油・天然ガス
- 第21章 鉄
- 第22章 有色金属・稀少金属
- 第23章 ダイヤモンド・雲母

第 2 部 プリバイカル地方とザバイカル地方

概説

- 第24章 プリバイカル地方とザバイカル地方の地球物理学的研究
- 第25章 地球物理学的・地質学的前提
- 第26章 若干の地球物理学的研究の成果
- 第27章 ブリヤート共和国内の広域地球物理学的研究
- 第28章 チタ州における広域地球物理学的研究

第 3 編 ソ連東部

第 1 部 ソ連北東区

概説

地球物理学的研究, その課題と方向

- 第29章 ベルホヤノ・コルィマ州南西部の広域地球物理学的研究による地質学的成果
- 第30章 ソ連北東区における広域空中磁気測定図の地質学的成果
- 第31章 ソ連北東区の地球物理学的数据による大型曳裂断層
- 第32章 ベルホヤノ山脈における地球物理探査
- 第33章 マガダン州における磁気探査
- 第34章 マガダン州とカムチャツカ半島における電気探査
- 第35章 ソ連北東区の地震探査

第 2 部 極東地区

概説

- 第36章 ハバロフスク区の地球物理学的研究
- 第37章 沿海州の広域地球物理学的研究
- 第38章 樺太の地球物理学的研究
- 第39章 アジア大陸から太平洋に移過する地域の地球物理学的研究

結語